

## 第31回自由が丘のまち運営会議議事録

日 時 : 平成21年(2009年) 1月27日(火)  
19:15~20:30

場 所 : 自由が丘会館 3階会議室  
目黒区自由が丘1-29-16

出席者 : 別紙の通り

議 題 : 1 自由が丘街並み運用委員会の経過報告について  
2 自由が丘駅前広場整備について  
3 その他

(株)ジェイ・スピリット渡邊取締役より挨拶。

◆議題・・・自由が丘街並み運用委員会の経過報告について(資料なし)

※(株)ジェイ・スピリット平井取締役が自由が丘街並み運用委員会(仮称)の検討経過について報告。

- ・街並み運用委員会において、街並み形成指針の運用方法についての詳細を詰めている。
- ・ 3月の住区住民会議の常任委員会を始め、パンフレットを基に住民、商店街に対して周知していく。
- ・ 運用委員会は卯月氏、渡邊取締役、住区住民会議の代表、石川氏、林氏を中心として構成する予定。
- ・ 4月から運用開始予定。

<指針運用の流れ>

街並み形成指針に合致しているか否かをチェックシートで確認⇒基準以下なら可能な範囲で修正を依頼⇒建築確認申請⇒建築行為

(議長)

- ・ 街並み運用委員会の結果等をまち運営会議で報告できたらよいと考えている。
- ・ 指針には協力を求めるのみで拘束力はない。区が目下、取り組んでいる景観計画に盛り込み、部分的にでも指導可能となるとよい。

◆議題・・・自由が丘駅前広場整備について

※目黒区街づくり推進部自由が丘地区整備課長が駅前広場整備計画(案)の内容を説明。

<質疑応答>

(渡邊取締役)

- ・ 女神ストリートのバリアフリー化は22年度の駅前広場整備事業と同時にできるのか。また、21年度実施予定の南口整備計画との整合性について、区の考え方を聞かせてほしい。大井町線の踏み切りを待つ人が多いので、白線の位置を少し膨らませてほしい。

→女神ストリートについては少し駅前広場整備に先行して進む見通し。南口整備は設計業者、民民と調整を図りつつ進める。道路の白線の位置と踏み切りの位置とが若干、整合が取れていない箇所もあることは認識している。

(委員)

- ・ 駐輪場を駅前整備計画に位置づけられない理由は？

→懇談会においても様々な意見があった。放置自転車をなくすためには駐輪場が必要で、スペースは駅前にしかないとの意見があった。しかし、駐輪場を設置することによりかえって駅周辺に自転車を呼び込むとか、駐輪場の位置によっては歩行者空間を狭める可能性が指摘された。懇談会の最終的な提言では、駅前広場には駐輪場を整備せず、適地があれば検討するという事で終了した。

- ・ 適地は探さなければ見つからない。ある程度、計画的に駐輪場整備に当たってほしい。区はどう考えているか。

→地元の協力を得て情報収集しながら、少しでも進めていきたい。しかし、適地が見つかるまでは具体的な計画は立てられない。

(委員)

・ 女神ストリートの整備について、この会議で報告の予定があるか。

→いずれ報告する。現在は自主的に民地を下げた歩道としている。さらに区道の一部を同様な歩道状にし、できるだけ歩行空間を確保する方針。幅員を何メートルにするかは未定。

・ 車道と歩道との段差についても検討中か。

→段差を設けることが目的ではないが、歩道と車道とは分離することになる。

(議長)

・ 歩道と車道との段差について、バリアフリー化を進めるには段差を少なくすべきなのか。

→改札を出て女神ストリートへストレスなく移動できるようにこれから測量、設計する。区でも福祉の街づくり計画他いくつかの基準に沿って計画する。

(委員)

・ 駅前広場に放置されている自転車はどこへ流れると予測しているか。

→駅南側の駐輪場に誘導し、現在 80~85%の利用率を上げていく努力が必要だろう。また、自由が丘駅周辺は放置自転車禁止区域なので、自転車を放置させないために啓発活動にも力を入れていかなければならないだろう。

(委員)

・ 昭和 55 年以来毎年、住区住民会議で放置自転車問題を取り上げている。55 年の放置自転車撤去台数は 11 月 411 台、12 月 489 台との記録がある。また、60 年の住区の調査で、放置自転車の所有者の 66%は世田谷区、2%は大田区、その他が目黒区というデータもある。駅前広場の整備によりしわ寄せが来ることも考えると、住宅地の中に駐輪場を作るなどの具体的な対策をしてほしい。都市再生整備計画の駅前広場の地下駐輪場整備計画はどうなったのか。また、駅前情報板の整備、ストリート案内板整備の進捗状況についても説明してほしい。

→住宅地に駐輪場を作る提案は所管に伝える。地下駐輪場は懇談会の提言を受けて設置しないことになり、計画を変更した。駅前情報板については全区のサイン計画をユニバーサルデザインで策定する動きがあるため、動きを合わせながら進める。ストリート案内板整備はジェイ・スピリットの事業であり、区も支援している。来年度、再度適地を探し、なければ終了となる。

(委員)

・ 南口を手本とすれば、駐輪場設置だけでなく、自転車を放置しづらい心理にさせることも必要だと感じた。

(委員)

・ 自由が丘に遊びに来る人々は、自分で集めた情報を持って来ている。案内板がなくても、分からないことは近くの人に聞いて自分で解決しているのではないか。

(平井取締役)

→自由が丘で賛同があれば、街の中を案内するコンシェルジュのような制度ができるのではないかと思う。各人が知っている範囲で道案内し、分からなければインフォメーションセンターに聞いてもらう。韓国や中国からと思われる観光客が増えており、センターではそれぞれの言語で案内図を作成している。

(渡邊取締役)

・元町で若い女性アルバイトが交通整理しているように、駅前だけでもアルバイトを雇用して自由が丘らしい街案内ができればよいと思う。

(委員)

・駅前広場の整備計画で心配なことがある。一般車乗降場が駅から遠いため、身障者専用乗降場が本来の目的では使用されないのではないかと思う。乗車と降車の場所を分けてはどうか。

→ご指摘のとおりだろう。図面に示したとおりに使用してほしいが、使用者のモラルに頼ることになる。道路交通法上、駐車はできず一時的な停車しかできない。

・規則は知っている。図面と現実とは一致しないことを指摘したかった。

→ご意見としてうかがっておく。

(渡邊取締役)

・女神像の位置についてみなさんに意見を伺いたい。整備計画(案)では改札の方を向いている。

(委員)

・図面の広場空間に一番近いところが理想だと思う。

#### 【情報提供(幡野課長)】

駅前広場の測量が始まるので、ご了承いただきたい。

#### ◆その他

(平井取締役)

・自転車対策協議会ではわずかなスペースでも使用させてもらい、一時的な自転車置場とする活動を、区の協力を得ながら実施していく。ラックを置いて自転車置場とすることもできるので、空きスペースがあれば情報を提供してほしい。

以 上